

環境にやさしい工作教室（令和元年12月15日開催）

大石隆示さんを講師に迎え、「環境にやさしい工作教室」を開催しました。
参加者は大人4人、子ども5人の計9人でした。

1 蜜蝋（みつろう）のキャンドルづくり

蜜蝋はミツバチが巣を作る時に出す分泌物（ぶんびぶつ）で、巣をコーティングして雨から守ります。蜜蝋はミツバチの巣を煮詰め（につめ）濾過（ろか）を繰り返して作ります。本日用意した板状の蜜蝋は、体温で温めると簡単に柔らかくなるので工作に使いやすくなっていますが、ドライヤーで熱するとより柔らかくなります。



ろうそくの種類には一般的な「洋ろうそく」の他に「和ろうそく」、「蜜蝋ろうそく」があります。和ろうそくはハゼの実を原料としており、炎（ほのお）にゆらぎが少なく蝋がたれにくく、もちがいいという特徴があります。蜜蝋ろうそくは、ミツバチの分泌物を原料としており、蜂蜜のようなほのかな甘い香りがします。



和ろうそくは和紙とイグサから作られる芯（しん）へハゼの実からとれる植物油を年輪状に巻きつけて作ります。絵付けをしたものは贈答用にも使われています。



保護者も子どもたちも親子で楽しみながらそれぞれ個性的な形の蜜蝋キャンドルを作りました。



2 松ぼっくりのクリスマスツリーづくり

緑色に着色をした松ぼっくりを木の台座に固定して、用意されたワイヤーライト、金ラメ、蛍光塗料などでデコレーションをしてクリスマスツリーを作ります。



最初、子どもたちは細かい作業で苦心していましたが、だんだん慣れてくると楽しくなり、個々のセンスでたくさんデコレーションしました。



傑作（けっさく）ができあがりました。

今年は電池で光るワイヤーライトを松ぼっくりに取り付けたため、デコレーションが引き立ちます

最後に照明を暗くし、全員の作品を並べてワイヤーライトのイルミネーションを点灯させました。

